



平成23年度 城山地区地域活性化事業交付金 交付決定事業実績

平成24年3月31日現在

事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
1 「津久井の歴史こぼれ話を語る会」講話記録集『春林文化 津久井の歴史と風土』刊行事業	津久井の歴史こぼれ話を語る会	講話記録集『春林文化津久井の歴史と風土』を刊行することにより、地域の歴史や文化・伝統を後世へ継承するとともに生涯学習に寄与することを目的とする。	平成23年1月から12月まで、12回の歴史講座『津久井の歴史こぼれ話を語る会』を開催した。また、その講演内容を講話記録集『春林文化7号津久井の歴史と風土』にまとめ刊行し、市内小中学校、公民館、図書館に配架した。	刊行した『春林文化7号津久井の歴史と風土』は、市内の小中学校・公民館・図書館に配架して、広く市民の皆さんに地域の歴史・文化・風土・伝統を承継することができた。 歴史講座『津久井の歴史こぼれ話を語る会』の開催及び『春林文化7号津久井の歴史と風土』の刊行を通じて、相模原市域のみならず、多摩地域他の歴史愛好者にも広く知られるようになり、歴史講座の聴講者も時には100名にも及ぶなど、格好の生涯学習の場になっている。	歴史講座『津久井の歴史こぼれ話を語る会』も今年3月で159回を迎え、また、講話記録集『春林文化』も連続5回発刊することができた。歴史講座では、多くの熱心な受講者に支えられ、地元の古老、地域郷土史研究家、さらには有名大学の教授の皆さんにも快く講師を引き受けていただけるまでに成長した。記録を書籍として残すことの重要性を強く感じており、今後も活動を継続していきたい。	H23.6.9	900,000
2 地域住民のコミュニティ推進活動事業	つくいレクリエーションクラブ	レクリエーション活動を通して、子どもから高齢者までの幅広い世代のコミュニケーションの場づくり、生きがいづくりを提供する。また、講習会を開催して、職場や地域のリーダーや指導者にレク財を提供し、活用してもらうことを目的とする。	レク講習会 チャレンジ・ザ・ゲーム 審判資格講習会 クラブ体験教室 ラダーゲッター講習会 イベント参加 高齢者レク講習会、夏休みこどもスポーツ塾、城山もみじまつり、城山公民館成人学級、川尻小元気が出るつどい、湘南小親子ふれあいデー、健康ウォーク、しろやまスポレク大会2012	エンジョイパスゲームやパスボールでは、ネットが立てられるようになったので、ゲーム性の醍醐味をより一層高めることができた。 「ラダーゲッター」は、あらゆる年代で楽しめるニュースポーツであり、「投げる・歩く・計算する」ことで高齢者の介護予防や子どもの集中力を高める効果があり、幅広い年代で人気が集まり、大いに盛り上がりやすくなった。	近隣住民のコミュニケーションや世代を超えた人々の交流が希薄化している現代社会において、今年度は「絆づくり」をテーマとした事業を展開することができた。 参加者からは、仲間との連携プレイで記録を出したり、一緒にゲームの楽しさを共有しながら、「遊びが運動になる・運動が遊びになる」、「日頃の生活とはまた違った発見や感動があった」という嬉しい感想をいただくことができた。	H23.6.9	96,000
3 戦中戦後を歩いた学童達、記憶をたどる手記刊行事業	同世代友栄会	戦後65年を過ぎ、厳しい時代を過ごした体験の記憶も薄れる中で、当時の体験を記録として残し、平和で幸せな世代の若者に平和のありがたさを感じてもらおうことを目的とする。	戦中戦後の厳しい時代を過ごした74歳から80歳の方々から寄稿をいただき、当時の体験を手記としてまとめ、市内の小中学校、公民館、図書館等に配架していただいた。	地区老人クラブ連合会などと連携したことにより、90名の方から少年少女時代の貴重な体験談を寄稿していただくことができた。 また、市内の小中学校、公民館、図書館等に配架していただいたことにより、後世に平和の響きを伝えることができた。	「戦中戦後を歩いた学童達」として高齢者から授かった宝物が、平和の中で暮らす若者たちに、平和のありがたさを感じていただくきっかけとなった点を評価している。	H23.6.9	800,000
4 新しい地域コミュニティ構築事業	特定非営利活動法人 城山スポーツ&カルチャークラブめいぷる	スポーツ・文化的な活動を通して地域住民やサークル・クラブの参加交流を主導し、ネットワーク化や地域情報の発信・交換の場の提供を行い、地域住民主導のコミュニケーションの構築に貢献することを目的とする。	文化講演会 開催日:9月3日(土) 内容:はやぶさ帰還から1年~もう一度はやぶさのメッセージを考えよう~ 参加者:50名 スポーツクリニック 開催日:10月23日(日) フラエクササイズ教室(5回) 開催日:11月26日(土)、12月2日(金)、1月28日(土)、2月3日(金)、2月25日(土) 情報交換サイト(ホームページ)の構築	文化的、健康志向のプログラムにより、子どもたちや40歳以上の大人の参加が増加しており、行政主導のコミュニティづくりから地域住民主導の新しい地域コミュニティづくりへの移行に貢献できた。 事業プログラムについては、参加者の希望を取り入れ、来年度は複数回実施や定期教室化など、継続的なプログラムとしていく計画である。広報は、頻度・領域共に不十分であり、来年度はより一層広報活動を充実させる。	参加者や指導者のコメントから、わたしたち「めいぷる」の目的が大きく浸透してきた手ごたえを感じている。 地域住民主導による新しい地域コミュニティの構築について、これまでの「できるかな?」という感覚から「できそうだ!」という感覚に変わってきている点を評価している。それを確かなものとするために、今後はホームページを含めた広報活動に注力していきたい。	H23.6.9	540,000

事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
5 葉山島地域活性化事業	湘南みらい実行委員会	地域の活性化には、次世代の担い手の人材育成や、地域内で活動している自治会・育成会・老人会がより一層連携を深めることが必要であるという視点から、「地域活性化」をキーワードに地域住民が一体となり「秋の収穫祭」を開催し、多くの観光客を呼び込むことで、地域全体の目的である葉山島の振興と活性化を図ることを目的とする。	実施日:10月9日(日) 内容:落花生の収穫体験、地元野菜・加工食品の直売、模擬店、地域の観光案内、その他のイベントコーナー 広報:タウンニュース緑区・中央区版 来場者数:約600名	秋の収穫祭の周知を例年より広範囲に行ったところ、地域外を中心に昨年比1.5倍の来場者があり、地域で収穫した野菜等が完売するなど、地域の課題であった余剰野菜の解消、休耕地に解消に結び付いた。 また、地域内で活動している自治会、育成会、老人会が積極的にイベントに参加しイベントを盛り上げたことにより、葉山島地域一帯の連携をより一層深めることができた。	秋の収穫祭は、年を重ねる毎に多くの方に訪れていただき、地場野菜や観光・旧跡などを紹介することで地域の存在感をアピールできたことは大きな成果であったと評価している。 こうした取り組みをきっかけに、次年度は各種団体などと連携し、市民による米作り体験を実施することとなった。今後も周辺地域との連携を進めることにより、当地域だけではなく、周辺地域にもさまざまな相乗効果が生まれるような活動の輪をさらに広げていきたい。	H23.6.9	567,000
6 地域で取り組む子育て支援事業	城山商工会女性部	子どもに遊具の取り扱い方や紙芝居の読み聞かせを行うことで、子どもの感性を養うとともに、子育てという同じ悩みを持つ母親同士の情報交換と交流の場づくりを行うことを目的とする。	子育て支援事業の開催(8回) 開催日: 5月10日(火)、 6月30日(木)、 9月30日(金)、 10月6日(木)、 11月2日(水)、 12月1日(木)、 2月2日(木)、 3月1日(木) 内容:人形劇、紙芝居、読み聞かせ、遊具の取扱い教室など 参加者:親子延べ144組(316名)	昨年行った絵本の読み聞かせに加え、エプロンシアターによる臨場感あふれる人形劇により、子どもたちの感受性を深められたように感じた。 参加した母親たちは、同じ悩みを抱えたもの同士としてコミュニケーションが深まり、お互いに育児や家庭の悩みなど、日頃抱えている問題を打ち明けることで、母親たちの精神的な負担(孤立感)の軽減が図られた。	商工会女性部員が育児の経験者として、参加した母親たちのメンタルな部分をしっかりとサポートすることを心がけている。 遊びや読み聞かせなどを通じ、子どもたちが他の子どもとのコミュニケーションの取り方を学ぶ機会を提供したところ、参加した母親たちから好評を得ることができた。	H23.6.9	97,000
							3,000,000